サステナビリティマネジメント

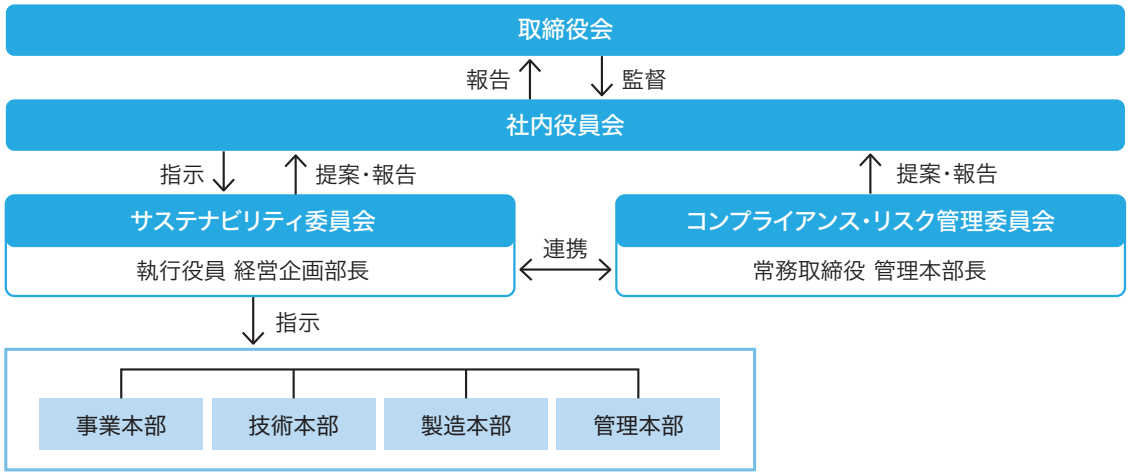
日工グループのサステナビリティ推進体制

当社グループは、社会・環境課題への対応を含むサステナビリティ活動に対するガバナンス体制の強化及び経営意思決定との連動を目的として、2023年6月にサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会は、ビジョンの実現に向けて、日工が掲げるマテリアリティ（重要課題）への対応に向けた戦略の策定・推進・モニタリングを担っています。同委員会で審議された重要事項は、社内役員会を経て定期的に取締役会へ報告され、取締役会による適切な監督を受ける体制を構築しています。

基本方針の詳細は、以下をご覧ください

- 日工グループ サステナビリティ基本方針
  （https://www.nikko-net.co.jp/sustainability/）
- 日工グループ 人権基本方針
  （https://www.nikko-net.co.jp/sustainability/pdf/human-rights-policy.pdf）

ガバナンス体制図



サステナビリティ委員会

サステナビリティ委員会は、コンプライアンス・リスク管理委員会と連携しつつ、議論の集約と施策の実行の迅速化を図る役割を担っており、以下の体制で運営されています。

- **委 員 長**：執行役員 経営企画部長
- **委　　員**：経営層4名（各事業本部・管理本部の責任者で構成し、全社的な実行力を担保）
- **事 務 局**：経営企画部など関連部署から5名で構成
- **開催頻度**：原則として年4回

サステナビリティ委員会の役割

1. 長期ビジョンの実現に向けたマテリアリティの特定・見直し
2. マテリアリティに関連するリスク・機会の把握、目標・指標（KPI）設定と進捗管理の方向性の明示
3. 長期ビジョンを起点としたバックキャストにより、中期経営計画の素案を策定
4. ステークホルダーへの価値提供に向けた体制整備
5. コンプライアンス・リスク管理委員会との連携による全社リスクマネジメントへの統合

同委員会における主な検討事項（2025年度）

1. 国際的な開示基準（ISSBなど）を踏まえた、当社グループの気候変動シナリオ分析のアップデート
2. サステナビリティリスクの特定とコンプライアンス・リスク管理委員会への共有
3. サプライチェーン強化（法令遵守、人権リスク、セキュリティー対策など）に向けたシナリオ策定
4. 中期経営計画を踏まえた非財務目標の設定

サステナビリティ戦略と目標・指標（KPI）

日工グループは、サステナビリティ委員会が主導し、4つのマテリアリティの進捗管理を行っています。各マテリアリティに紐づく目標やKPIの達成状況を定期的にモニタリングし、課題や事業環境の変化に応じた戦略の立案・実行に反映することで、長期的な企業価値向上を目指しています。

マテリアリティにおける機会とリスク、KPIの詳細はP19-20をご参照ください

リスクマネジメントへの統合

各マテリアリティに関連するリスクと機会は、サステナビリティ委員会にて特定・評価され、設定されたKPIに基づいて定期的なモニタリングを実施しています。関連部門との連携のもと、当社グループの強み・弱みを踏まえた対応策を講じ、リスクの最小化と機会の最大化を図ります。

サステナビリティ委員会が特定した重大リスク（気候変動対応や人的資本に関するリスクなど）は、コンプライアンス・リスク管理委員会が所管する「全社リスクマネジメント体系」に組み込まれます。これにより、グループ全体での包括的なリスク管理体制を強化するとともに、不測の事態に対する迅速な経営判断・対応を行っています。